

## 「百十郎桜」

- 一、 明治半ばを 過ぎた頃  
各務野辺りに 豪雨が襲う  
被害を及ぼす 境川  
土手は崩され 家流される  
噂聞きつけ 悲しんだ  
美濃の生まれの 百十郎
  
- 二、 川を新たに 貫けと  
地域をあげての 一大事業  
大枚投じて 時を掛け  
昭和始めに 完成みたり  
いたく喜ぶ 村人と  
歌舞伎役者の 百十郎
  
- 三、 水の流れを 木曾川へ  
願いを叶えた 新境川  
花火を打ち上げ 酔いしれる  
村へ贈った 千本桜  
土手に苗木を 植え込んで  
今に残した 百十郎